背景と目的

●協働による公園づくり10年を迎えるにあたって

2020年8月に、パーククラブが設立されて10周年となる。これを協働による公園づくり10周年 として、公園のコンセプトと10年間の実績を共有するツールとして作成する。

●公園のコンセプト、取り組み、実績を共有できる記念誌

背景

オープンから5年がたち、パーククラブを中心としながら、えんづくりプログラムの団体や教 育機関など、様々な人たちとの繋がりが広がっている。今回の記念誌は、公園の運営関係者は もちろん、公園に一歩踏み込んで関わりたいと思ってくださる人たちと、公園のコンセプトと 具体的な取り組み、実績を共有できるものを目指す。

公園には現在、主に5つの情報媒体がある。(2009年作成のコンセプトブック、パン フレット、ことマップ、パーククラブの5周年誌、公式HP) しかしながら、公園のコ ンセプトと具体的な取り組み、実績を同時に確認できる媒体がない。





①公園づくりに関わる人たちが、過去の振り返りを通して理念や経緯を共有することができる。 →パーククラブが過去のいきさつや流れが理解できるテキストとしても活用

- ②公園づくりに参画したい人が、関わり方を考えることができる。
- ③公園づくりの理念に対する共感者を増やし、協力者を増やしていく。
 - →公園の営業ツールとしても活用

公式HP



(1)運営関係者(パーククラブ、大阪府、大輪会、運営審議会委員など)

- ②公園づくりの活動に興味のある個人や団体
- ※公園の基本情報を知りたい人→既存のことマップや公式HP



既存の冊子

項目と台割り案(*ダイジェスト版のパネル展示も検討)

①はじめに	・冊子の背景と目的 ・公園全体のマップ、所在地や開園時間、面積などの基本情報
②公園のコンセプト	(1) スペシャル対談①:パーククラブ、大輪会、増田先生による対談形式で理念を紹介 (2) この公園のつくりかた ①景観を重視した公園づくり ・自然の風景を活かしながら整備を進めてきたこと ②シナリオ型の公園づくり ・公園に関わる人たちで議論し、活動やルールを見直しながらつくってきたこと ③環境に配慮した公園づくり ・基本的には自然の材料を使っていること、持ち込まない原則の徹底など ④地域の活性化などに役立つ公園づくり ・パーククラブによるプログラム実施、えんづくりプログラムや学校連携など
③パーククラブにつ いて	 (1)代表インタビュー:パーククラブって何ですか? (パーククラブの概要、大切にしていること、など) (2)パーククラブの取り組み・6チームによる活動の紹介(リーダーのコメントつき) (3)スペシャル対談②:パークレンジャーの楽しみ・パーククラブ数名による対談形式で活動の楽しみを紹介
④公園づくりの足あ と	(1) 10年間の足あとマップ ・園路、広場、竹林整備、植物の育成、歴史的な出来事 (2) 10年間の全イベント ・パーククラブで実施してきた整備以外の活動(イベントなど) ・えんづくりプログラム、小学校の連携、その他団体との連携事業など。
⑤公園づくりに参加 する方法	(1) パーククラブへの参加方法・パークレンジャー養成講習・パーククラブ開催イベントへの参加(2) えんづくりプログラムによる参加(3) 連携事業による参加
※各項目の主相を大阪	原存とパーククラブで分担 ※全体コーディネート 冊子の編集・デザイン・studio」

※各項目の主担を大阪府とパーククラブで分担

※全体コーディネート、冊子の編集・デザイン: studio-L







対談ページのイメージ

37

コンセプトの紹介イメージ

活動紹介などのイメージ

全イベント集のイメージ

V1 IX *	70717								石刻和力 なこのイグ ク エー・						<i>></i> 1 ** 07	, ,
裏表紙	表紙	背彩	表	目次		① 冊子 目的	① 公園 情報		① 公園マップ (見開き)			② 扉	②(1) コン セプ ト		②(i) スペシャル対談 (見開き)	
40	1		?	3		4	5		6	7		8	9	•	10	11
②(2) 景観	②(2) シナ リオ	②(⁽²⁾ 境	②(2) 地域 活性		③ 扉	③(1) PC 代表 より		③(2) 園路 竹林	③(2) 自然 ふれ あい		③(2) 棚田	③(2) 果樹 樹木		③(2) 竹工 作	③(2) 天神 川
12	13	1	4	15		16	17		18	19		20	21		22	23
スペシ	③ (3) スペシャル対談 (見開き)		あと	(1) :マップ 開き)		④(1) 足あとマップ (見開き)				(2) ベント 開き)			(2) ベント 開き)		⑤ 扉	⑤ (1) PC
24	25	2	6	27		28	29		30	31		32	33		34	35
⑤(2) えん づく り	⑤(3) 連携 事業	おり		クレ ジット		スケシ	ジュール	19年9月~12月:インタビューの実施、素材集め 19年11月~20年1月:デザイン作成、中地区部会で検討 20年2月~20年3月:最終仕上げ、審議会報告								